

## パンデミックで再発見した住まいの価値

DIY とは？屋根を補修したり寝室のペンキを塗ったりや芝生を刈ったりすることでしょうか？少なくとも表面上はそう言えます。DIY は、住まいを維持管理するために必要な手段としてとても役立っています。それゆえ、DIY 業態は「住まいの薬局」と呼ぶことができるも知れません。

しかし、それだけではないのです。私たちは現代の暮らしのペースが速いために、「住まいを修繕したり改善したり、また住まいへの愛を深める」という DIY のとても大きな目的を見失いがちです。

住まいの改善は、人類にとって生来の活動のようにも思えます。人類の歴史を通してそれが根付いて来たという事実からも見出すことができます。遠く先史時代に遡れば、原始人も彼らの "住まい" を手入れする必要性を感じていたのが見てとれます。



人類史上、初めての住まいの改善プロジェクト？

1

しかし、なぜ DIY は私たちにとって必要不可欠なのでしょうか？

マズローの欲求段階説を聞いたことがありますか？それは食糧および水のような生理学的な欲求から自尊心のようなより多くの心理的な欲求に及ぶ人々の欲求段階を心理学的に理論化したものです。マズローは、人の下の階層の欲求は、上の階層の欲求の前に満たされなければならないと主張しています。住まいに関する5段階の欲求を満たす要件に、何が偏在し何が必要不可欠なのか解るはずです。(右図参照)。



<sup>1</sup>ラスコー洞窟（フランス、紀元前1万7000年頃）に描かれた先史時代の壁画。

<sup>2</sup>アブラハム・マズローはXX世紀のアメリカの心理学者でした。

ここにいくつかの例を挙げてみましょう。

- 1) 生理的欲求：私たちは誰でも悪天候からの避難場所としての住まいや休息するための住まいを必要としています。住まいはシェルターです。
- 2) 安全の欲求：私たちは皆、物理的な安全（例えば、ロックダウン中に実証された疾患からの安全）であれ、心理的な安全（頭上に屋根があるという安心感）であれ、様々な形の攻撃から自分自身を守るために住まいを必要としています。住まいは城です。
- 3) 帰属・愛情欲求：私たちは皆、愛する人とのプライバシーと親密さを作るために住まいを必要としています。住まいは巣です。。
- 4) 自我・尊厳の欲求：私たちは皆、主観的にも客観的にも個人的な成功を形にするものとしての住まいを必要としています。住まいはあなたのショールームです。
- 5) 自己実現の欲求：私たちは皆、自分の個性を表現できる住まいが必要です。つまり、創造力を発揮できる場としての住まいです。住まいはあなた自身です。

しかし、これらの欲求を満たす上で住まいがとても不可欠なものであるにもかかわらず、私たちは、なぜかその重要性を見失ってしまいました。ところが、今回の COVID-19 の発生やその後のソーシャルディスタンス対応とロックダウンの状況がこれに変化をもたらし、私たちが「住まい」とは何かを再考する契機となったのです。

**いかにして、ウイルスは私達に住まいの価値を再発見させたのでしょうか？**

3月11日に何が起こったか覚えていますか？世界保健機関（WHO）は COVID-19 をパンデミックであると宣言しました。この宣言は、ウイルスの拡散を遅らせるために世界的にステイホームを決定した一連の動きの始まりとなりました。

4月2日には、世界のほぼ半分がロックダウン<sup>3</sup>状態になり、外出は食糧品の買い出しや病院への通院のような必要不可欠な用事だけに制限されました。

経済が複雑に絡み合いグローバル化が進む世界では、ロックダウンやソーシャルディスタンスの対策が引き金となり、劇的な変化が起こっています。特に景気後退とそれに伴う失業者数の増大による人々の生活に深刻な影響が出るのは必至でしょう。

さらに、家計を節約するために DIY がより有効な手段となり、否が応でも DIY をやらなければならないようになるでしょう。ロックダウン下で、自分自身を見つめ直すことで住まいの本来の価値に改めて気がつき、住まいの手入れの必要性を知る一方で、期待していたほどの住まいでないことも改めて自覚しました。

---

<sup>3</sup> [Euronews: Coronavirus: Half of humanity now on lockdown as 90 countries call for confinement](#)

住まいは、社会活動の合間に睡眠を取ったり寛いだりする場所に止まらず欲求を満たしてくれる礎のようなものです。住まいの価値が改めて分かってくると、私たちはこの数か月間水漏れしていた蛇口を直したり、寝室をお気に入りの色に塗り直したり、カーペットを洗ったり、子供たちにせがまれていたツリーハウスを建てたり、家族の写真を壁に飾ったり、バルコニーにエデンの園のように花々を飾ったり、荒れた庭を家庭菜園に変身させたりするなど、住まいをもっと大事にしたいという気持ちになりました。

ロックダウンにより旅行や野外活動をキャンセルせざるを得えなかった一方で、通勤や通学時間が減り、家事に専念したり必要な DIY を行う時間がとても増えました。今、私たちは新しい日常を経験しています。現在、多くの人は一時的に自宅で仕事をしていますが、将来は、住まいにオフィスが必要になってくるかもしれません…

住まいのホームインプローブメントは、単なる手作業に終わらず DIY スキルを身につけ習熟できるととても良いチャンスであり、自信にもつながります。自主的な隔離生活で精神的安定を保つことが難しい時ですが、心の支えになってくれたのは数々の DIY プロジェクトでした。私たちが自分の手で何かを創った時の達成感は格別なものです。

さらに重要なのは、自己表現しやすい野外活動の機会が奪われている今は、住まいの手入れをすることで創造力が発揮できる絶好の機会であるということです。自分の個性を表現し、自分らしさを反映した住まいを創ることが、どんなに自己実現できるのか計り知れません！

**しかし、パンデミック下でのホームインプローブメント業態の役割は何なのでしょう？**

お客様の DIY を生活に取り入れることを支援することこそ、私たちホームインプローブメント業態の唯一の目的です。この目的を達成するために、私たちは、高品質でカスタマイズされた幅広い品揃えと最高の顧客サービスを提供しています。お客様の DIY スキルの低下を補うためにワークショップを開催し、DIY スキルを習得し磨くことを支援する店がますます増えています。

DIY 業界も大きな課題を抱える真っ直中であって、持続可能性に関する課題や加速する社会のデジタル化の影響を受けています。この点では、Amazon や Alibaba などのオンライン市場では、私たちにとって彼らとの競争条件が不公平であることが大きな懸念事項です。

更には、多くの国でホームインプローブメント業態が「社会的に必要不可欠な小売業態」として認知されている一方で、COVID-19 の発生により顧客と従業員を守るための新たな衛生基準の導入とその運営は、企業にとって大きな負担となっています。ホームインプローブメント業態の重要な役割の例として、欧州では省エネを助する DIY 作業に対する政府の税制上の優遇措置が増えていることがあります。

しかし、ホームインプローブメント企業はこの難局でも、「皆さんの住まいの修繕や改善への支援、そして住まいへの愛を深めることを支援する」というこの大切な役割を怠るこ

とはありません。わたし達は、この使命を自覚しつつお客様の期待と要望を満たすために絶え間ない進化を続け、今後もこの姿勢を維持します。

---

EDRA / GHINは、世界のホームインプループメント小売企業の声を代弁しています。現在のEDRA / GHINには、世界74か国で32,000店舗以上を展開する214社のホームインプループメント小売企業が加盟しています。

EDRA-GHINの詳細については、この[link](#)をご参照してください。

連絡先：[info@edra-ghin.org](mailto:info@edra-ghin.org)

以上